



2018.1 No.77 発行：社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会
〒989-1501 川崎町大字前川字北原23-1
TEL 0224-85-1222 FAX 0224-85-1224
E-mail kawasakit-shakyo@io.ocn.ne.jp

前川小学校PTA 親子研修会



12月1日(金)前川小学校において「親子で防災について学ぼう」と題してPTA研修会が開催されました。「コミュニティ・4・チルドレン」の菅原清香氏を講師に招き、避難所での生活について勉強しました。

キッチンペーパーや新聞紙を用いたマスクとスリッパ作り、段ボールベッドや防災グッズの体験、非常食の試食などを通し、日ごろの備え、皆で協力すること、工夫することを学びました。



～地域福祉は住民相互の支えあい～ かんこうじ 寒糰づくりをしてみませんか?



- 目的 高齢者世帯等の方々が、万能調味料といわれる「寒糰づくり」を通して参加者相互のネットワークづくりや相互支援が図られることを目的に開催します。
- 日時 平成30年1月13日(土) 10:00～12:00まで
- 場所 川崎町健康福祉センター 2階 調理室
- 内容 寒糰づくり
- 講師 食育コーディネーター 岡伸子氏 (れすとらん ハラペコ)
- 対象者 一人暮らし高齢者、高齢者世帯、寒糰に興味がある方
- 参加費 材料代 500円(保険代含む)
- 申込み 1月9日(火)社協事務局まで申込み願います。
TEL 85-1222 / FAX 85-1224

かんこうじ 寒糰とは?

糰ともち米、天然塩、ざらめを使用し、寒の間(1月中旬～下旬の間)に仕込み、3ヶ月間寝かせることによって使うことができます。調理方法は、野菜を漬け、漬け物として食べることや肉や魚にまぶして調理ができます。

お茶っこ飲み会のお知らせ



川崎町ボランティア友の会では、一人暮らし高齢者の方々を対象に、気軽に集まり交流ができる場「お茶っこ飲み会」を開催しています。是非、お気軽にご参加ください。

- 日時：平成30年1月10日(水)、2月6日(火) 10:00～12:00
- 場所：川崎町健康福祉センター (1階のコミュニティホールにて)
- 内容：お茶のみ、健康体操や趣味活動
- 参加費：100円～
- 主催：川崎町ボランティア友の会



社協介護スタッフ (臨時職員)募集!!

川崎町社会福祉協議会では介護職員を募集しております。お気軽にお問合せください。

- 募集職種：介護職員
- 募集人数：若干名
- 勤務先：川崎町デイサービスセンター
- 応募条件：介護福祉士、ホームヘルパー2級以上資格のない方でも相談に応じます。
- 応募：電話連絡の上、履歴書・資格書を直接又は郵送でお願いします。

お問い合わせ 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会 TEL.0224-85-1222

平成29年度 川崎町社会福祉協議会会費 にご協力ありがとうございました。

行政区名	一般会費加入世帯数	会費納入額	行政区名	一般会費加入世帯数	会費納入額
1 裏丁上	138	138,000	12 小野	73	73,000
2 裏丁下	177	177,000	13 川内1	142	142,000
3 本荒町	211	211,000	14 川内北川	170	170,000
4 中新町	214	214,000	15 川内2	59	59,000
5 前川東部	80	80,000	16 川内3	62	62,000
6 前川西部	80	80,000	17 本砂金	90	90,000
7 青根	51	51,000	18 小沢	19	19,000
8 立野	131	131,000	19 支倉上	114	114,000
9 野上	167	167,000	20 支倉下	54	54,000
10 古関	42	42,000	21 基石	87	87,000
11 笹谷	24	24,000	22 支倉台	166	166,000

一般会費加入総世帯数：2,351 / 合計：2,351,000円

～地域福祉事業は皆様の会費によって支えられています。～

今年も住民の皆様のあたたかいご協力をいただきまして心より御礼と感謝を申し上げます。また、取りまといいただいた行政区長さんをはじめ、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

平成29年度 赤い羽根共同募金

運動期間 平成29年10月1日～12月31日

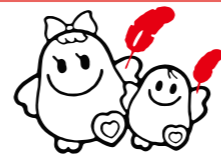
赤い羽根募金は、宮城県共同募金会に送金し、次年度の福祉事業の財源として配分されます。

主に社会福祉協議会や社会福祉施設、NPO、ボランティア団体等、また、地域住民同士の支えを生み出す地域福祉活動にも使われております。皆様のご協力ありがとうございました。

平成29年12月1日現在

行政区名	赤い羽根募金世帯数	募金額	行政区名	赤い羽根募金世帯数	募金額
1 裏丁上	140	70,000	12 小野	69	41,400
2 裏丁下	177	106,200	13 川内1	142	85,200
3 本荒町	195	117,000	14 川内北川	180	108,000
4 中新町	212	127,200	15 川内2	59	35,400
5 前川東部	80	48,000	16 川内3	62	37,200
6 前川西部	80	48,000	17 本砂金	90	54,000
7 青根	51	30,600	18 小沢	21	12,600
8 立野	131	65,500	19 支倉上	113	67,800
9 野上	167	100,200	20 支倉下	54	32,400
10 古関	44	26,400	21 基石	84	50,400
11 笹谷	25	15,000	22 支倉台	169	79,692

赤い羽根募金総世帯数：2,345 / 合計：1,358,192円



職域・団体募金

- 川崎町役場職員一同
- 国保川崎病院職員一同
- 川崎町社会福祉協議会職員一同
- 『やすらぎの湯』温泉窓口

合計：39,972円

学校募金

- 富岡小学校児童一同
- 前川小学校児童一同
- 川崎小学校児童一同
- 川崎中学校生徒一同

合計：12,358円

その他募金

- 個人募金 佐藤 正男様
- その他募金

合計：30,000円

福祉体験学習 福祉教育事業の取組み

川崎町社会福祉協議会では、福祉体験をとおし、「ふだんのくらしのしあわせ」とは何かを考えてもらいながら、人として思いやりをもった心を育ててもらおうと、キャップハンディ体験や交流会などの福祉教育事業に取り組んでいます。

キャップハンディ体験

前川小学校

11月28日、11月30日、12月5日、川崎町健康福祉センターにて、福祉体験を行いました。5～6年生は「聴覚障がい体験・車イス体験」、3～4年生は「視覚障がい体験」、1～2年生は「非利き手体験」をしました。



川崎第二小学校

12月13日(水)1～4年生は「視覚障がい体験」、5～6年生は「聴覚障がい体験」をしました。



川崎町デイサービスセンター利用者との交流会

川崎第二小学校

9月22日(金)1・2年生のみなさんと交流会を行いました。手作りのクイズや踊りで盛り上がり、最後は全員で握手を交わしました。



富岡小学校

11月14日(火)3年生のみなさんと交流会を行いました。利用者のみなさんと一緒に折り紙を楽しみ、演奏を披露した後、全員で肩もみをしました。



川崎小学校

11月29日(水)6年生のみなさんと交流会を行いました。福祉車輻や浴室のリフトを見学した後、学芸会で行った出し物を披露してくれました。



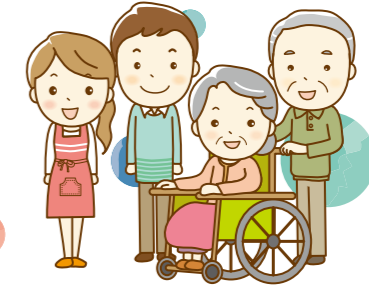
前川小学校

11月28日、11月30日、12月5日、学芸会で行った歌や演劇、よさこいを披露してくれました。





学校での福祉活動紹介



町内の小中学校では、福祉教育事業の一環として年間を通じて様々な福祉活動を行っております。各小中学校で取り組んでいる活動を紹介いたします。

▼キャップハンディ体験



富岡小学校



▲デイサービス施設訪問

本校の3年生は、町の社会福祉協議会の協力のもと、7月に「キャップハンディ体験」、11月には「デイサービス施設訪問」を行いました。「キャップハンディ体験」には、学年PTA行事として保護者も参加しました。アイマスク体験や車いす体験を通して、周りが見えない不安や思うように行動できないもどかしさを感じることができました。「デイサービス施設訪問」では、デイサービスに通うおじいさん、おばあさんと一緒に、折り紙、にらめっこ、肩たたきジャンケンを楽しみました。おじいさん、おばあさんに喜んでほしい子どもたちの思いと、子どもたちの頑張り笑顔で答えてくれる皆さんの思いとで、心温まる交流会となりました。

様々な体験から学んだことを生かし、福祉活動に積極的に取り組む子どもを育てていきたいと思ひます。



川崎小学校



本校では、6年生になると、川崎町社会福祉協議会のご協力をいただき、キャップハンディ体験をしています。今年は、車椅子に乗ったりその補助をしたりする体験を通して、体の不自由な方の苦勞を味わったり、どんな補助をしてあげればいいのかを考えたりしました。5年生は、パラリンピックのポスター募集に参加して、体のハンディキャップを越えて健常者のようにいきいきと活躍している姿に触れることができました。11月には、車椅子バスケットボールチームの宮城マックスが来校し、5・6年生が障害者スポーツを実際に体験することができました。その迫力や大変さ、そして面白さに、夢中になっていました。実際の模擬試合では、競技者としての鍛え上げられたパワーや技を目にし、学ぶことが多かったです。その後の講演会には全校で参加し、日本選手権9連覇を達成するための苦勞や努力、チームとして助け合うことの大切さを学ぶことができました。

【川崎レイクサイドマラソン】

9月に行われた「第1回川崎レイクサイドマラソン」に、川崎中の3年生全員がボランティアスタッフとして参加しました。大会1週間前には、選手に配るパンフレット等の袋詰め作業や、ゼッケンの仕分けを行いました。長時間の作業となりましたが、生徒たちは、熱心に取り組みました。また、大会当日は、選手受付や、選手の誘導など、さまざまな場面で大会を陰ながら支えることができました。この活動を通して、生徒たちは「自分たちでも地域に貢献できる。」という達成感を感じることができ、実りある活動となりました。

【志教育講演会】

11月には、ウィルチェアラグビー日本代表キャプテンの庄子健さんによる「志教育講演会」が行われました。はじめに庄子さんの生き方についての講話を聴き、その後、ウィルチェアラグビーの体験をさせていただきました。庄子さんの逆境に負けない、力強く誇り高い生き方に生徒も教職員も感銘を受けました。生徒たちは、これから待ち受けるであろうさまざまな困難や壁を想定し、乗り越えようとする強い心構えができた貴重な体験となりました。



川崎中学校

6月に「3.11長城プロジェクト」として3・4年生が岩沼千年希望の丘で防潮林の植樹を、11月には「鎮守の森プロジェクト」として1・2年生が青根演習林でどんぐり拾いを柴田農林高等学校川崎校の生徒の皆さんと交流学習を行いました。どちらも高校生のお兄さん、お姉さんのお世話を受けながら和気あいあい楽しく活動しました。

11月に行う「ししなご祭り」は、児童が企画立案する児童会行事です。学習でお世話になった方々、地域の方、保護者の皆さんを招待して、子どもたちが感謝を表します。各学年が考えた遊びの店を開き皆さんと触れ合います。どの店も笑顔であふれています。参加された皆さんからは、逆に感謝の言葉をたくさんいただきました。

12月には、社会福祉協議会の職員の方を講師にお招きして、全校児童が福祉体験をしています。学年に応じて毎年いろいろな福祉体験をしています。この体験を通して、障害のある方々の気持ちを少しでも理解でき、役に立てるようになればと思ひ、一つ一つの活動に熱心に取り組んでいます。



▼福祉体験

▼ししなご祭り



▼千年希望の丘



川崎第二小学校



富岡中学校

今年も10月に「秋じまい」を行いました。本校では学校農園で毎年、JAみやぎ仙南の方々のご協力をいただき、全校縦割り班で「里芋」を栽培しています。収穫の時期には、収穫への感謝とこれまでお世話になった方々や日頃から学校を温かく見守り、ご協力をいただいている地域のご高齢者への感謝の意を込め、収穫された里芋を芋煮にして提供しています。今年は昨年よりも大きい芋がたくさん収穫でき、食べていただいた方々にも喜んでいただけました。

また、今年で39回目となりました船岡支援学校との交歓会を行いました。1年生11名が参加し、校舍探検やポッチャなどの交流活動を通して、人への優しさや思いやりの大切さを学び、生徒同士の人間関係を広げる機会となりました。その他にも「すすらん生活委員会」が中心となって募金活動を行ったり、JRCやユニセフの活動を紹介したりして、福祉への理解やボランティア精神を広げる啓発活動に取り組んでいます。



前川小学校



- 1 やまびこ祭
肩もみでおもてなしました。
- 2 福祉体験
左手で豆つかみをしました。
(非利き手体験)
- 3 花植え活動
みんなで協力してきれいに植えました。
- 4 交流活動
デイサービスの方々との交流しました。

前川小学校では毎年、全校で花植えをしています。町から頂いたパンジーとチューリップの球根を縦割り班ごとに6年生が下級生に教えながら協力して花壇に植えています。

10月には「やまびこ祭り」を行い、縦割り班ごとにお店を開きました。今年もたくさんの方においでいただきました。最後に児童全員でお客様をお見送りし、その時に心を込めて作った手作りのプレゼントを一人一人に渡しました。みなさんに楽しんでいただくことができ、日頃の感謝の気持ちをお伝えすることができました。

11月には、町の社会福祉協議会で福祉体験をしました。点字体験や視聴覚障害体験、非利き手体験では、障害について学び、困難を実感することができました。その後、学芸会で行った劇や合奏を披露し、地域のおじいさんおばあさんと交流をしました。肩たたきや握手をして、温かい交流が生まれました。

団体・ボランティア活動だより

仙南地方ボランティア連絡協議会 交流研修会in大河原町

10月6日(金)大河原町にて、仙南地方ボランティア交流研修会が開催され、川崎町ボランティア友の会からも参加しました。午前中は、仙台管区気象台の職員から東北の気候の特徴と災害への備えについて学びました。午後からは大河原町健康クラブ指導の下、コミュニケーション麻雀による交流会が行われました。ゲームが進むにつれ、どのテーブルからも笑顔が溢れ、他団体と親睦を深める貴重な機会となりました。



青根温泉感謝祭への協力

10月8日(日)青根温泉じゃっぼの湯にて、第6回青根温泉感謝祭が開催されました。川崎町ボランティア友の会のみなさん、柴田農林高等学校川崎校のみなさんと共に、炭火焼さんまと芋煮の無料振る舞いを手伝いました。満員となった会場には長蛇の列が出来上がり、たくさんの方に秋の味覚を味わっていただきました。



男の料理教室の開催

10月14日(土)川崎町健康福祉センターにて、男の料理教室が開催されました。今回は、親子丼、野菜炒め、漬物、かんたん汁物を作りました。多くの野菜を使いながら、皆さんひとり一人が、一生懸命料理に取り組んでいました。



かわさき シニアスポーツ大会

10月24日(火)川崎町B&G海洋センターにて、川崎町老人クラブ連合会主催による「第23回かわさきシニアスポーツ大会」が開催されました。桃チーム(前川東部・前川西部・青根・立野)が3連覇を果たした他、黄チーム(小野・川内三・小沢)が2位、緑チーム(川内二・本砂金)が3位となりました。



福祉のつどい

10月28日(土)川崎町しょうがい者連絡協議会主催で、グラウンドゴルフ大会が開催されました。参加者同士和気あいあいと楽しくプレーをしていました。



表彰おめでとうございます。

平成29年11月21日、第63回宮城県社会福祉大会が開催されました。川崎町からも日頃の社会福祉活動に功績のあった方々が表彰されました。受賞された方々おめでとうございます。

第63回宮城県社会福祉大会表彰者(敬称略)

宮城県知事表彰

- 社会福祉事業篤志奉仕者(民生委員児童委員)
近江 夏子(本荒町)

宮城県共同募金会長感謝状

- 奉仕功労者
石川 憲夫(立野)

宮城県社会福祉協議会会長表彰

- 民生委員児童委員功労者
佐藤 秀子(川内一)
大宮 浩子(中新町)
追木 三郎(立野)
- 社会福祉協議会役員功労者
小原 迪(小沢)

宮城県民生委員児童委員協議会会長表彰

- 民生委員制度創設百周年記念特別表彰
中村 とみ子(川内一)

宮城県身体障害者福祉協会会長表彰

- 更生援護功労者
佐山 哲(支倉上)

一人暮らし 高齢者の集い

「ほのぼのの会」



10月11日(水)一人暮らし高齢者の方を対象とした日帰り旅行「ほのぼのの会」を開催しました。今年は、福島県中通り方面へ行きました。ブドウ狩りを体験、飯坂・医王寺を拝観後、最後は道の駅国見にて買い物を楽しみました。



介護予防フェスティバル



11月18日(土)川崎町健康福祉センターにおいて「介護予防フェスティバル」が開催されました。認知症への理解を広めるためのウォーキング大会「オレンジウォーク」では、チェックポイント毎にたすきを受け継ぎながら、無事にゴールすることができました。ステージ発表では、介護予防川柳大会の授賞式や、各事業所の利用者さん方によるファッションショーが新たに盛り込まれ、大きな盛り上がりを見せました。



※平成29年8月27日(日)開催の「ボランティアサマーフェスタ」において、アルパイン川崎様より、福岡県・大分県豪雨災害義援金として1,700円寄付をいただきました。大変ありがとうございました。